



全ての子どもがいきいきと充実した学校生活を過せるよう、子どもを守り育てる体制を整えます。いじめ防止対策や重大事態の調査等を行う「杉並区いじめ問題対策委員会」の設置に関する議案を可決しました。(写真は、元気に遊ぶ杉並第六小学校の児童)

平成29年
第2回定例会

いじめ問題対策委員会条例、杉一小
 施設整備関連経費など一般会計補正
 予算等を可決しました

第2回定例会は、5月30日から6月16日まで18日間の会期で開かれました。初日から4日間は17名の議員が区政一般について、質問しました。

今定例会では、補正予算、条例7件、契約5件など28議案の審議を行い、全て原案どおり可決しました。また、公益財団法人等の経営状況など11件の報告を聴取しました。

議 会 日 誌

《5月》

- 8日 議会改革特別委員会
- 10日 議会運営委員会理事会
- 14日 災害対策特別委員会（視察）
- 17日 臨時会本会議
- 18日 総務財政委員会
- 18日 議会運営委員会
- 18日 臨時会本会議
- 19日 各委員会
- 19日 議会運営委員会理事会
- 22日 議会運営委員会
- 30日 議会運営委員会理事会
- 31日 本会議

《6月》

- 1日 本会議
- 2日 本会議
- 5日 区民生活委員会
- 6日 保健福祉委員会
- 7日 都市環境委員会
- 8日 文教委員会
- 9日 総務財政委員会
- 12日 災害対策特別委員会
- 13日 道路交通対策特別委員会
- 14日 文化芸術・スポーツに関する特別委員会

《7月》

- 11日 議会運営委員会理事会
- 14日 災害対策特別委員会（派遣）

今号の掲載内容

区政を問う 一般質問……………	2～4
《特集》委員会での議案審査の様子…	5
委員会の活動報告、視察レポート…	6
傍聴のご案内、議場の議席配置図、 陳情の審査結果 ほか……………	7
議案等の概要と審議結果……………	8

第3回定例会は9月11日(月)から開会予定です。
傍聴のご案内は7面をご覧ください。

区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

5月30日・31日、6月1日・2日に17名が質問しました。その要旨をお知らせします。

熊本地震の教訓を生かした災害対策について



井口かづ子 (自民)

問 防災課職員の専門的能力を向上させるための取組は。

答 防災士や無線技師の資格を取得するとともに、防災スペシャリスト講習などの受講により専門的能力の向上に努めている。

問 災害対策本部メンバーが被災した場合の代替要員や、区外に住む職員の参集をどのように想定しているのか。

答 災害対策本部メンバーは、各職務を代行する補佐を置いていく。居住地を踏まえた徒歩による参集予測では、発災数時間後には少くとも約54%の職員が参集可能と想定している。



問 災害時のトイレ不足は大きな課題。杉並区の備えの状況は。

答 過去の災害時の仮設トイレ設置状況から、利用にほぼ支障がないとされる75人に1基の規模を目安に確保している。

問 車中避難の自粛について、事前に周知を図る必要があると考えるが、区の見解を問う。

答 自動車での避難は、渋滞を招き救援・救護活動の妨げになる恐れや健康上の課題もあるため、避けるよう周知に努める。

問 3月にヤマト運輸・佐川急便と締結した協定の内容は。

答 熊本地震でも課題となった救援物資の供給について、震災救援所などへの配送や緊急物資拠点の運営に関し、物流の専門である両社の協力を得たもの。

保育緊急事態宣言のその後、児童福祉法・教育関連法改正



今井ひろし (自民)

問 待機児童対策として、育児休業推進や、さらなる保育士確保策について問う。

答 保育施設の整備と併せて、国とともに育児休業制度改革や事業主等の意識改革に取り組み、子どもを産み育てやすい環境を整備することが急務。保育士確保策については、昨年度の取組の効果検証を踏まえ、支援策を検討する。今後も待機児童の解消に全力で取り組んでいく。



問 児童福祉法改正に伴う児童虐待予防策の充実について問う。

答 児童虐待の発生予防の視点からも、子育て支援と母子保健が連携し、切れ目のない支援を一体的に行う「子育て世代包括支援センター」機能は重要。関係機関の連携を強化し、センター機能を果たしていく。

問 教育関連法改正による共同学校事務室設置と学校運営協議会の拡充について問う。

答 学校事務を共同して処理する「共同学校事務室」は、都内一部の学校で試行されており、引き続き、調査研究を進める。また、学校運営協議会に先駆的に取り組んできた杉並区では、法改正による特段の影響はない。

問 特別支援学校学習指導要領改訂に伴う、区の対応を問う。

答 改訂を踏まえた教育が実践されるよう、教員研修の充実や環境整備を支援していく。

小中学生の命を守るため防災頭巾からヘルメットへ転換を!!



浅井くにお (自民)

問 防災頭巾では、子ども達の大切な頭を落下物から守れない。命を守るため、防災用ヘルメットの導入を強く要望する。また校舎は、今後想定される震災規模に十分耐えられる耐震・免震への改築を要望する。

答 防災ヘルメットは、他自治体の導入状況などを総合的に見て検討する。校舎は、老朽改築計画の見直しなどを図っていく。

問 都市農地等みどりに関する法律が改正された。区は、農地を政策にしっかりと位置付け、生産緑地の下限面積を300㎡とする条例や特定生産緑地の指定などに積極的に動け。また都市公園の設置主体の区が公園を潰すことがあってはならない。改めて区の考えを問う。

答 これまでも農地の保全に努めてきたが、法改正の趣旨を踏

まえ、条例制定や特定生産緑地について、農業者の意見を丁寧聞きながら取り組んでいく。また保育所整備は区立施設全体を対象に取り組んだもの。



問 西武新宿線の開かずの踏切をなくす鉄道の連続立体交差事業に、区は他力本願で取り組むのではなく、地元の機運を高めることや関係権利者の理解を得るなど地道な取組を行い、一刻も早い事業着手を目指せ。

答 都や西武鉄道、隣接区市と連携協力し早期実現に取り組む。

特別養護老人ホーム整備と保育園整備について



大熊昌巳 (自民)

問 静岡県南伊豆町の特養開設に向け、今後の予定を問う。

答 来年1月の開設に向け工事は順調に進んでおり、7月から入居者の申し込みが始まる予定。

問 その特養施設までの距離について、区長の考えを問う。

答 物理的な距離を縮めることはできないが、ケアの内容や質とともに、入居者と家族が日々対話可能なICT機器の利用や家族宿泊室などの整備により、感じる距離は縮まると考える。区民の介護・高齢化の問題は、区が一義的に責任を果たすのが

筋。安心して入居できるように、静岡県、町、運営事業者と連携を図り、取り組んでいく。



問 区は、待機児童解消緊急対策をどう評価しているのか問う。

答 危機的状況は回避することができたが、待機児童の解消に至らなかったことを重く受け止め、引き続き精力的に取り組む。

問 久我山地域を含め、緊急対策で残された課題を問う。

答 地域偏在の解消や保育の質の維持・向上、建設費・運営費の増加等があり、これらの課題解決に向けて積極的に取り組んでいく。また久我山東原公園の一部を活用した認可保育所の開設は、待機児童の大幅な減少に大きく寄与した。恒久的な代替地の確保は、地域の声を十分にお聞きしながら引き続き努力する。

自分を価値ある人間だと思えている高校生は4割もない



井原太一 (自民)

問 幼少期に愛着を形成し、自尊心を育て、自己を肯定できる子供に育てることが大切だと考えるが、区の取組を問う。

答 自尊心は、人や物、自然と豊かに関わりあう多様な経験を積み重ねることで育成されるもの。集団での遊びや野外活動、

地域の方の協力による多様な交流・体験活動など、あらゆる教育活動を通して、自尊心を高めるよう取り組んでいる。

問 親が干渉し過ぎると子供の自尊心は育たなくなる。就学前教育の研究成果は、保護者に対しても生かされているか。

答 昨年度、成田西子保育園が自尊心の育成をテーマとして実践した研究成果は、今年度から他の子供園でも実践され、自ら感じたことを共有する取組が充実してきている。

問 子供が将来へ希望を持てるように、ライフデザイン教育では仕事や社会の仕組みのほか、家庭や家族の在り方も教える必要があるのではないか。

答 子どもたちが、今後の成長の中で直面するであろう様々な課題に対応し、社会人・職業人として自立していくために必要な教育と認識している。職場体験のほか、自らの誕生から今日に至るまでの成長を振り返る学習や赤ちゃんとふれあう学習などを行っている。



掲載内容は、質疑応答の一部です。区議会ホームページから質問者別の動画で全部をご覧になれます。

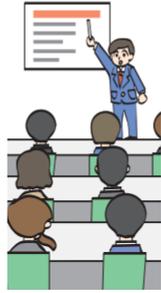
※防災スペシャリスト講習=内閣府が実施する地方公共団体等職員向けの防災人材育成プログラム

性的マイノリティに対する差別是正について



木村ようこ (無木)

問 文部科学省は、性的マイノリティに関する周知資料を通知し「まずは教職員が、偏見等をなくし理解を深めることが必要」と呼びかけている。教育委員会は通知を受け、教職員を対象とした研修を行っているのか。



問 都の里親認定基準は、同性カップルを里親から除外している。区が児童相談所を設置する際には、国の里親委託ガイドラインとの整合性を図り、同性カップルも里親として認めるべきか。

らすため、運転免許自主返納支援制度の対象年齢緩和を求める。

特養整備の在り方、学校図書館、グリーンインフラについて



山本あけみ (未来)

問 特養申込者の実態を分析し、真に必要な人への支援につなぐことが重要。利用者の実態や多様なニーズに合った医療と福祉のマッチングなど、今後の施設整備の在り方は。

問 入所希望者や家族の意向を把握するため、今年度、実態調査を行い、施設の仕様や機能、住まう場所の希望などを分析し、今後の整備に生かしていく。

然環境の持つ力や仕組みを生かした社会資本整備という新たな概念だが、区での取組はあるか。



地域包括ケアシステム(在宅医療・健康増進・居住支援の充実)



中村康弘 (公明)

問 区は、在宅医療をどのように推進していくのか。

問 レセプト情報を分析し実態調査に努め、政策を立案するとともに、(仮称)天沼三丁目複合施設に開設予定の在宅医療・生活支援センターや訪問看護ステーションなどを活用し、患者や家族のニーズに的確に対応した在宅医療の体制を整備していく。

性低下の傾向を加味し、効果的な疾病予防と虚弱予防に注力する必要があります。区の考えは。



問 住まい確保のための居住支援協議会の今後の活動予定は。

問 区は、区長の見解を問う。政治家として首相自身の考えを述べたものと考えている。

首相の改憲発言、都営久我山団地建て替えの跡地活用について



金子けんたろう (共産)

問 都営久我山1丁目第2団地の建て替えに関する都の説明会で、用途未定地の活用を区が検討しているとの説明があったが、区の認識はどうか。区として活用を検討し、都に求めたのか。また、具体的な活用方法は。



問 東京五輪の都の費用負担が増大すれば、区にも財政負担が及び、住民サービスや福祉の後退を招く恐れがあると考えるが。

問 阿佐谷地域のまちづくり方針は区民の声に基づき再検討を!



上保まさたけ (共産)

た声に基づき、当該用地のみどりを残すような案を検討するべきだが、区の見解を問う。



問 同計画については、この回数説明会等が行われ、A案にもB案にも数々の疑問や問題点が指摘されている。そうした意見が計画に全く反映されていない。そのような計画の進め方は大変問題である。今後の阿佐谷地域全体のまちづくりに関わることであり、区民との対話を続け、そこで出た意見を計画に反映させて結論を出し直すべきだと考えるが、区の見解を問う。

問 高円寺地域の小中一貫校計画について、この間、区主催の住民説明会で工事業者が住民を盗撮する人権侵害行為を行っていた事実が明らかとなった。大変重大問題だと考えるが、区の見解を問う。

に憲法改定を表明。憲法の意義について区長の考えを問う。

問 憲法改定に国民の合意形成が図られていないが、見解は。

問 虐待から児童を守るためには、どのような支援が必要か。



問 外環トンネル工事の中の住民の避難計画について、国から緊急時の住民の安全確保に関し問い合わせはあったのか。外環トンネル工事への住民の不安に応え、国に住民の避難計画策定を求めてほしいが、いかがか。

切れ目のない子育て支援、動物との共生について



山本ひろこ (公明)

問 子育てをしている当事者だけでなく、その周囲の方へも子育てに関する情報を届けることは重要と考える。区の見解は。

答 子育てを支える周囲の方への情報提供は、当事者の孤立感や育児不安を軽減する手段として有効と認識している。プッシュ型の情報提供は少ないため、今後研究の必要がある。

問 妊婦や乳幼児の保護者に子育て情報を配信する「きずなメール」は、虐待の予防や子育て施策の推進を後押しし、区と区民の信頼関係を築くツールとして大変有効と考えるが、見解は。

答 きずなメールは、子育てを家族みんなで支え合う契機となり、子育ての孤立を防ぐ有効なツールと認識。重複した事業とならないよう研究を進める。

問 伴侶動物と入所できる特別養護老人ホームの開設や動物虐待を防ぐ命の教育など「動物との共生社会の構築」を一つの力テゴリーとし、ふるさと納税の寄付先として検討することを強く要望する。動物が殺処分されることのない共生社会の構築について、区の見解を問う。



答 地域、ボランティア、行政

が一体となり「動物が家族の一員から地域の「一員」として社会の中で認められ、人と動物との調和のとれた共生社会の実現を目指す、取り組んでいく。

生きることの包括的な支援。点から線、線から面の自殺対策を



市来とも子 (平和)

問 日本の自殺率は国際的にも非常に高く、杉並区では3日に1人が自殺で亡くなっている。区の過去15年間の自殺者数は。

答 平成14年から28年までの合計で1577人となっている。

問 自殺対策は、うつ病対策だけでは対応できない。相談窓口や支援を点から線へ、線から面へつなぐ「地域制度モデル」への変換が必要。区の見解は。

答 地域モデルの構築を念頭に関係機関、関係者が連携し互いに協力して、地域全体で区民が自殺に至らないよう支えあう杉並区を目指して取り組んでいく。



問 「死にたい」とインターネット検索する人が毎月13万〜23万件にのぼる。自殺関連用語を検索した場合に、支援サイトにつなげるような取組を行っている。

答 現在、「死にたい」と検索すると「こころの健康相談統一ダイヤル」という全国統一番号が

表示され、都の場合は専門相談員が本人の意向に合わせて区の担当者へつなげる仕組みである。

問 自殺対策は、生きることの包括的な支援でもある。対策への区長の役割と意気込みを問う。

答 自殺を社会的な問題と捉え保健、医療、福祉、教育、労働などの視点から、総合的な対策を検討する。それぞれに応じた支援に確実につなげられる環境整備に、全力で取り組んでいく。

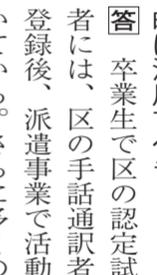
下水道氾濫対策について



田中ゆうたろう (美杉)

問 区内の下水道氾濫による浸水被害の現状や特徴、対策の現状、今後の課題について問う。

答 近年多発するゲリラ豪雨の際、川から離れた場所でも下水道で処理しきれなくなった雨水がマンホールから溢れ、浸水被害が発生している。このため都下水道局が桃園川幹線流域と荻窪2丁目松見橋付近の浸水対策に今年度着手。今後は、1時間50ミリの降雨に対応できる下水道施設の整備を進め、早期に浸水被害の解消を図ることが課題。



小林ゆみ (自無)

問 手話講習会の卒業生を、手話通訳ボランティアとして積極的に活用すべき。

答 卒業生で区の認定試験合格者には、区の手話通訳者として登録後、派遣事業で活動いただいている。さらに多くの卒業生が活躍できるように、講習会などの周知を図っていく。

問 聴覚障害者支援、オリピック・パラリンピックについて

答 卒業生で区の認定試験合格者には、区の手話通訳者として登録後、派遣事業で活動いただいている。さらに多くの卒業生が活躍できるように、講習会などの周知を図っていく。



問 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会には海外からの多くの来街者が予想されるが、区民が英語が話せなくてもコミュニケーションが取れる方法を区が提案してはどうか。

答 外国語表記ガイドなど、様々な媒体でコミュニケーションが取れる手法を研究していく。

問 大会開催中のテロへの懸念が高まっている。災害時の避難訓練などと併せて、区でテロ対策の訓練を行ってはいかがか。

答 テロの形態により対処は変わるが、大規模避難は地震災害と同様のため、地域の防災訓練に積極的に参加してもらいたい。

高円寺小中一貫校建設 区主催説明会で住民を隠し撮り



松尾ゆり (杉わ)

問 高円寺小中一貫校の工事業者が住民の抗議行動を「妨害」として訴えた。表現の自由を制限する動きとして報道されている。区は訴訟について事前に知っていたのか。知っていたのなら、なぜ止めなかったのか。

答 事前に承知はしていない。

問 本件はまっとうな訴訟ではなく「スラップ訴訟(いやがらせ訴訟)」であると考えるが区の見解は。また公共事業の請負業者が住民を訴えた前例はあるか。

答 工事業者は法的措置が必要と判断したものと考え。区には前例はない。他自治体の例は把握していない。

問 訴訟の証拠に添付された多数の写真は全て隠し撮りであり、肖像権の侵害ではないか。区主催の説明会でも隠し撮りされている。撮影したのは区職員か。

答 工事業者が記録の必要があると判断し撮影したものと認識。撮影の状況は把握していない。

問 杉一小改築案では河北病院の土地と杉一小敷地を交換するとされるが、病院の土地は浸水地、汚染地であり交換は「照応の原則」に反するのでは。

答 諸要素を総合的に勘案する。上井草保育園民営化の事業者選定で、選定委員会会長に対し、職員から評価について働きかけがあったと聞かされた。そのような事実はない。

問 区補助で静岡県に建設中の特養老人ホームと苦情調整委員制度

答 現在には社会福祉法改正に的確に対応している。

問 区外施設については、委員が特に必要と認めた場合のみ苦情申立てを受けるとしているが(保健福祉サービス苦情調整委員条例9条1項ただし書き)、このように委員の主観に委ねる形では権利擁護につながらない。南伊豆特養に区が責任を持つと説明しているのなら、早く条例を改正すべきではないか。

答 区外で受けたサービスにも対応しており、南伊豆特養についても対応できると考えている。

問 南伊豆特養は施設が静岡県内にあるため、都も区も法令上の指導監督に関与できないが、どのように対応するのか。

答 保険者として、必要に応じ、是正の要請を行っていく。

問 区補助で静岡県南伊豆町



堀部やすし (無)



※プッシュ型情報提供=データやコンテンツなどの情報が利用者の端末に自動的に配信・更新される方法。

《特集》

常任委員会での
議案審査の様子

本会議で提出された議案などは、関係する委員会で質疑が行われ審査されます。審査が終わった議案などは、委員長からその結果が議長に報告され、本会議で採決を行い、議会の意思を決定します。

第2回定例会最終日（6月16日）に報告された常任委員会委員長報告（要旨）をお知らせします。

※委員長報告の全部は、区議会ホームページの議会中継（録画）または会議録（9月ごろに掲載）でご覧になります。



総務財政委員会

杉並区立阿佐谷南保育園改築
建築工事の請負契約の締結に
ついて（議案第47号）

質 改築の経緯とスキームは。

答 築48年と老朽化による改築。新園舎は隣の阿佐谷南児童遊園を取り込み、保育定員の拡充を図る。また、障害児指定園の役割も担う。新園舎建設後、仮園舎は民間の事業者を募集し、認可保育所として開設する予定。

〈賛成意見〉

◇改築に至る適切なスキームを確認できた。また待機児童対策として地域の要望に合致し、新たな障害児指定園として多様な保育需要に資する保育所整備であると認める。

審議結果「原案どおり可決」

このほかの質問
●入札参加資格条件について
●障害児指定園について
●近隣住民からの意見や要望への区の対応について など
このほか8議案の審査と事務事業概要の説明、6件の報告を受け、質疑を行いました。

区民生活委員会

杉並区特別区税条例の一部を
改正する条例（議案第38号）

質 配偶者控除・配偶者特別控除見直し意図と税収への影響は。

答 控除を受けるために配偶者が就業調整をしなくてはすむ仕組みとなり、働ける機会を増やすと考える。配偶者特別控除の増加による減収がある一方、高額所得者の控除適用がなくなるため、相殺すると増収と推測する。

〈賛成意見〉

◇国の税制改正を受けたものであり、企業側にとっても働き手を失わずにすむ仕組みであることを確認した。

審議結果「原案どおり可決」

このほかの質問
●配偶者控除と配偶者特別控除の関係について
●配偶者特別控除見直しの影響を受ける対象者数 など
このほか事務事業概要の説明と6件の報告を受け、質疑を行いました。

保健福祉委員会

杉並区行政財産使用料条例及び
杉並区立高齢者活動支援センタ
ー及びゆうゆう館条例の一部を
改正する条例（議案第39号）

質 条例改正の目的と概要は。

答 現在高井戸第三小学校の敷地内にあるゆうゆう下高井戸館を下高井戸児童館の建物に移転し、地域コミュニケーション施設のモデルとなる取組を開始する。

〈賛成意見〉

◇児童館の遊びスペースが狭くならないこと、ゆうゆう館は集会室が広くなり、職員の巡回など安全体制の確保を確認した。

審議結果「原案どおり可決」

このほかの質問
●ゆうゆう館を2階に移転することの懸念とその対応
●地域コミュニケーション施設のモデルとなる取組の具体例
●複合施設の管理責任者 など
このほか事務事業概要の説明と8件の報告を受け、質疑を行いました。

都市環境委員会

杉並区地区計画の区域内にお
ける建築物の制限に関する条
例の一部を改正する条例（議
案第41号）

質 玉川上水・放射5号線周辺地区が、地区計画の候補にあがった理由は。

答 平成17年に放射5号線事業が認可されたことをきっかけに、地元のまちづくり協議会から地区計画を活用したまちづくり構想が提案された。これらを踏まえ、区で検討を行ってきた。

〈賛成意見〉

◇玉川上水・放射5号線周辺地区における一体的・総合的なまちづくりを進めるための条例改正。緑と景観を生かして、地域の人が誇りや愛着を感じる生活環境の実現を求めて、賛成。

審議結果「原案どおり可決」

このほかの質問
●まちづくりでは、どのように水と緑の保全を図るのか など
このほか1議案の審査と事務事業概要の説明、8件の報告を受け、質疑を行いました。

文教委員会

杉並区いじめ問題対策委員会
条例（議案第42号）

質 当委員会の概要は。

答 法律、医療、心理、福祉等の専門家による教育委員会の附属機関として設置。いじめの未然防止や早期発見、対処に関する調査審議し、重大事態が発生した時には速やかに調査等を行う。

〈賛成意見〉

◇質疑を通じ、いじめ防止対策推進法との整合性、委員会の中立性・公平性・透明性が図られていることを確認できた。

審議結果「原案どおり可決」

このほかの質問
●当委員会と青少年問題協議会との連携について
●学校支援本部との連携
●教員向けのいじめ対応の研修
●いじめを受けた被害者家族への情報提供について など
このほか事務事業概要の説明と6件の報告を受け、質疑を行いました。

常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします（6・7月）

議案審査における議案各号の概要は、8面をご覧ください。

常任委員会	議会運営委員会
<p>◇総務財政委員会</p> <p>【開会日】29年6月9日</p> <p>【議案審査】第36・37、43～49号</p> <p>【所管事項調査】</p> <p>(1) 杉並第一小学校等施設整備等方針の策定と今後の取組について</p> <p>(2) 杉並区情報化基本方針等の改定について ほか4件</p>	<p>【開会日】29年6月16日</p> <p>【議 題】議案審査結果報告について ほか</p>
特別委員会	
<p>◇区民生活委員会</p> <p>【開会日】29年6月5日</p> <p>【議案審査】第38号</p> <p>【所管事項調査】</p> <p>(1) 杉並区男女共同参画行動計画の改定方針について</p> <p>(2) ふるさと納税制度の取組状況について ほか4件</p>	<p>◇災害対策特別委員会</p> <p>【開会日】29年6月12日</p> <p>【所管事項調査】</p> <p>(1) 簡易型感震ブレイカーの設置支援の拡充について</p> <p>(2) 下高井戸おおぞら公園の「一時（いっとき）避難地」指定等について</p> <p>(3) 平成29年度杉並区合同水防訓練の開催結果について</p> <p>【派遣日】29年7月14日</p> <p>【派遣内容】第55回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会参加（調布市）</p>
<p>◇保健福祉委員会</p> <p>【開会日】29年6月6日</p> <p>【議案審査】第39号</p> <p>【付託事項審査】陳情の取り下げ</p> <p>【所管事項調査】</p> <p>(1) 杉並区保健福祉計画等の改定・策定方針について</p> <p>(2) 平成29年度「臨時福祉給付金（経済対策分）」について ほか6件</p>	<p>◇道路交通対策特別委員会</p> <p>【開会日】29年6月13日</p> <p>【所管事項調査】</p> <p>(1) 外環等について</p> <p>(2) 自転車対策と南北交通について</p>
<p>◇都市環境委員会</p> <p>【開会日】29年6月7日</p> <p>【議案審査】第40・41号</p> <p>【所管事項調査】</p> <p>(1) 荻窪駅周辺まちづくり方針の策定について</p> <p>(2) 阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針（案）の策定について ほか6件</p> <p>【視察内容】杉並清掃工場の概要聴取及び工場内視察</p>	<p>◇文化芸術・スポーツに関する特別委員会</p> <p>【開会日】29年6月14日</p> <p>【所管事項調査】</p> <p>(1) 平成29年度文化・芸術振興事業の概要について</p> <p>(2) 平成29年度オリンピック・パラリンピック連携推進担当の事業概要について</p> <p>(3) 平成29年度スポーツ振興課の事業概要について</p> <p>(4) 杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」の改定方針について</p>
<p>◇文教委員会</p> <p>【開会日】29年6月8日</p> <p>【議案審査】第42号</p> <p>【所管事項調査】</p> <p>(1) 「杉並区教育ビジョン2012推進計画」の改定について</p> <p>(2) 「杉並区特別支援教育推進計画」の改定について ほか4件</p>	<p>◇議会改革特別委員会</p> <p>【開会日】29年6月15日</p> <p>【所管事項調査】</p> <p>(1) 議会基本条例について</p> <p>(2) 議会図書室について</p> <p>(3) 議会のICT化の検討状況について</p>



完成間近の清掃工場。煙突は高さ約160m。大気汚染対策に、法規制値より厳しい自己規制値を設定しています。

視察レポート 都市環境委員会

建設中の「杉並清掃工場」を視察しました！

杉並清掃工場（高井戸東3-7-6）は、昭和58年に操業を開始しましたが、老朽化のため、平成24年10月から建替工事を行ってきました。約5年の工事期間を経て、今年10月から稼動する予定です。

都市環境委員会では、完成間近の清掃工場内部の様子や周辺施設を視察しました。

視察では、清掃工場が地域住民とともに作り上げられたことや、環境保全の取組、地域環境との調和、効率の高い設備の導入による発電電力量の増加、自然エネルギーの利用などを確認しました。



清掃工場周囲には、緑地と敷地を一周できる遊歩道が整備されます。



ごみをためるバンカから焼却炉に運ぶごみクレーン。大人の背丈よりも大きい。



稼動後は立ち入れない、焼却炉の内部。燃焼方法の説明を聞く様子。

議案等の概要と審議結果

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 平成29年6月16日議決(※は6月2日議決)

議案番号	件名	概要	自民	公明	未来	平和	共産	自無	杉わ	共生	美杉	無	無木	結果
36号	杉並区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	雇用保険法の一部改正に伴う失業者の退職手当の拡充	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37号	杉並区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	再度の育児休業をすることができる特別の事情に係る規定の改正等	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38号	杉並区特別区税条例の一部を改正する条例	控除対象配偶者の名称の変更等	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39号	杉並区行政財産使用料条例及び杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例の一部を改正する条例	ゆうゆう下高井戸館の位置の変更と、ゆうゆう下高井戸館の集会室及び下高井戸児童館の遊戯室の目的外使用料の設定	○ 欠1	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	可決
40号	杉並区立区民住宅条例を廃止する条例	区民住宅の廃止	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41号	杉並区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	玉川上水・放射5号線周辺地区における建築物に関する制限の設定	○ 欠1	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	可決
42号	杉並区いじめ問題対策委員会条例	いじめ問題対策委員会の設置等	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43号	杉並区立桃井第二小学校改築及び併設1施設建設建築工事の請負契約の締結について	契約金額：27億3,348万円 契約の相手方：興建社・佐藤・矢島・友伸建設共同企業体	○ 欠1	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	可決
44号	杉並区立桃井第二小学校改築及び併設1施設建設電気設備工事の請負契約の締結について	契約金額：3億3,804万円 契約の相手方：牧野・清田建設共同企業体	○ 欠1	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	可決
45号	杉並区立桃井第二小学校改築及び併設1施設建設給排水衛生設備工事の請負契約の締結について	契約金額：2億5,790万4千円 契約の相手方：シンコー・新開建設共同企業体	○ 欠1	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	可決
46号	杉並区立桃井第二小学校改築及び併設1施設建設空調設備工事の請負契約の締結について	契約金額：3億4,128万円 契約の相手方：峯尾・黒澤建設共同企業体	○ 欠1	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	可決
47号	杉並区立阿佐谷南保育園改築建築工事の請負契約の締結について	契約金額：4億2,984万円 契約の相手方：江州建設株式会社	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48号	損害の賠償について	区職員の公務中の事故に関する損害賠償	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49号	平成29年度杉並区一般会計補正予算(第2号)	杉並第一小学校等施設整備等方針の決定に伴う関連経費や施設再編整備計画に基づく阿佐谷北保育園の移転整備に係る建設工事費、杉並第二小学校学童クラブの整備に係る改修工事費、いじめ問題対策委員会設置に係る委員報酬など、新たな事情の変化や緊急性等の観点から、16事業1,460万7千円の補正のほか、債務負担行為の補正	○ 欠1	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	可決
50号	人権擁護委員候補者の推薦について ※	田中載枝(たなか かつえ)氏を候補者として推薦	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	池田千宏(いけだ ちひろ)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
52号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	小野 実(おの みのる)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
53号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	小美野正義(おみの まさよし)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
54号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	秦 孝良(はた たかよし)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
55号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	井口久夫(いぐち ひさお)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
56号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	木下克博(きのした かつひろ)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
57号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	森田角治(もりた かくじ)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
58号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	本橋成一(もとはし せいいち)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
59号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	栗原正太郎(くりはら しょうたろう)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
60号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	坂井雄治(さかい ゆうじ)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
61号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	原 修吉(はら しゅうきち)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
62号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	飯田幸弘(いいた ゆきひろ)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
63号	杉並区農業委員会委員の任命の同意について ※	田原良規(たはら よしり)氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
報告5号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について ※	平成28年第1回定例会で議決された「仮称下高井戸公園第一期整備工事その2」の契約金額を989万7,120円増額し、5億1,209万7,120円とした。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告6号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について ※	平成29年第1回定例会で議決された「杉並区永福体育館移転改修建築工事」の契約金額を10万8千円増額し、10億1,746万8千円とした。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告7号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について ※	平成28年第4回定例会で議決された「仮称杉並区立高円寺地域小中一貫教育校及び併設1施設建設建築工事」の契約金額を555万1,200円減額し、58億8,044万8,800円とした。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告8号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された損害賠償額の決定の専決処分をしたことの報告について ※	1件の法律上の義務に属する損害賠償額を報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告9号	平成28年度繰越明許費繰越計算書について ※	臨時福祉給付金給付事業等6事業で、29年度に16億3,861万590円を繰り越す。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告10号	平成28年度事故繰越し繰越計算書について ※	避けがたい事故によって、29年度に3事業979万6,080円を繰り越す。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告11号	杉並区土地開発公社の経営状況について ※	土地取得：6,162.12㎡ 26億2,051万4,261円 土地処分：6,319.70㎡ 28億2,444万8,118円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告12号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団の経営状況について ※	スポーツの普及や健康づくりを目的として行われている各種の区民スポーツ教室の実施、区民体育祭やスポーツレクリエーション大会運営のほか、指定管理施設と受託施設の効率的な管理運営に努めた。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告13号	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団の経営状況について ※	来所・訪問等による就労相談や登録制による就労・生活支援のほか、職業準備訓練等を行う就労移行支援事業などを実施し、平成28年度は62人が就職した。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告14号	下井草駅整備株式会社の経営状況について ※	駅舎施設等を西武鉄道株式会社に賃貸した。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取
報告15号	公益社団法人杉並区成年後見センターの経営状況について ※	10周年記念事業の実施のほか、区民等からの成年後見制度に関する相談対応や区長申立て等手続き支援の実施、普及啓発活動などを進め、専門職後見人の紹介や法人後見の実施などのサービス提供を行った。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告 聴取

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案の一覧」でご覧になれます。

《会派名・構成人数》(平成29年6月16日現在)

自民/杉並区議会自由民主党(12人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、未来/区民フォーラムみらい(6人)、平和/いのち・平和クラブ(6人)、共産/日本共産党杉並区議団(5人)
自無/自民・無所属クラブ(5人)、杉わ/杉並わくわく会議(1人)、共生/共に生きる杉並(1人)、美杉/美しい杉並(1人)、無/無所属(1人)、無木/無所属(木村)(1人)